



パーツ交換で9種類のポジションを実現 可変式ビレットハンドルバー登場!!

UNLIMITEDハンドルマウント
ビレットファット・スタンダードバー(KAW 800X2/STX系)

J-lines <http://www.j-lines.com/>

UNLIMITEDから登場したハンドルマウントの最大の特徴は、各パーツを分割してシステム化していることだ。これにより、パーツ交換で9種類ものポジションが実現可能となる。

まずハンドルポストだが、標準で80ミリが付属(ハンドル高100ミリ/オプション購入の場合は1万500円)。加えて、オプションで70ミリ(ハンドル高90ミリ/9975円)、210ミリ(ハンドル高230ミリ/1万2600円)が用意されているので、3種類の高さが選択できる。

さらにハンドルクランプは標準でスタンダードバーとファットバーに対応しており、別売りのオフセットクランプ(1万2600円)を使用すれば、ハンドルバーだけでも3種類のポジションを選択可能だ。

つまり高さが3種類、それぞれの高さでハンドルバーのポジションが3種類。合計で9種類のポジションが可能となる

わけだ。

この幅広いポジション選択を可能にしたのは、ポストベースやポスト、パークランプを独立したパーツとして、互換性を持たせたことによるもの。さらに各パーツはボルトオンで交換できるため、いつでも簡単にポジションが変更できるのも大きな魅力。たとえばゲレンデが平水が浅か、コースを走るのかツーリングかなど、その日の水面や走り方に応じてポジションを変更して楽しむことも、十分に可能だろう。

各パーツはアルミ削り出しで、それぞれ高い質感を誇る。パーツを細分化したことで剛性面に不安を感じるかもしれないが、それもまったくなし。各パーツが寸分の狂いもなく、高精度で作られている証だ。

気になる価格は、80ミリポスト付属で2万1000円。これは安い!!



パークランプは、デフォルトでファットバー対応。標準装備のスペーサーを使用することで、スタンダードバーにも対応できる。



ポストは3種類。左から70ミリ、80ミリ(標準装備)、210ミリとなる。このポストを交換するだけで、ポジションは劇的に変化する。

